

献詠入選歌（一般の部）

一位 手の甲に何か書きつつ看護師の長き廊下を足早に行く

埼玉県本庄市

白藤 巳玲

二位 廃校の前で五人の子らを乗せスクールバスはまちへと向かふ

北海道札幌市

藤林 正則

三位 浜辺には流水高く積まれるて流水色の鳥が飛び立つ

千葉県山武市

立川目 陽子

四位 秋草の花を時かけ母は摘めり最後となりし試歩の半ばに

平塚市

熊沢 雅晴

## 献詠入選歌（小・中学生の部）

一位 お日さまはペットボトルをどおりぬけぼくに光りをプレゼントする

光市立光井小学校 横道 玄

二位 冬が来て一年ぶりのパーカーに頭通すとすでに小さい

大磯町立国府中学校 星 陽向

三位 まだ空を知らない君へ母からの手紙が眠る青い引き出し

名古屋市長供米田中学校 渡辺 美愛

四位 もう少し一緒にいたい、照れるから言わずに君の手つよく握った

立命館中学校 尾島 蓮瑛

## 献詠入選歌（高校生の部）

一位 寒い日はこたつにこもりでんわむし「こたつむり」ねと母が微笑む

福岡県立明善高等学校 田村 瑚奈

二位 美しき川にポツンとアレは何魚の換わりにゴミが流れる

文化学園長野高等学校 竹田 朱里

三位 秋がきてりんご収穫大変で自分の頬も真つ赤に染まる

文化学園長野高等学校 櫻井 桃花

四位 不安げに東京行きのバス停で「家を頼む」と兄の一言

文化学園長野高等学校 末川 明夏音